（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　ソラスト清須

作成日：令和　4年　4月　13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員は、利用者ができること・できないことの観察が乏しい場面があり、職員が先行して支援してしまう。また、いつまでも利用者ができるまで放置する場面がある。	利用者一人ひとりの状態を認識し、状態に合わせた声掛けや介助などの支援ができる。	①モニタリング・短期長期目標でのアセスメントの検討をカンファレンス・スタッフ会議にて実践・共有を図る。 ②「接遇」「認知症と認知症ケア」の社内研修を実践して、認識を深める。	12ヶ月
2	36	時折、職員が「〇〇ちゃん」と呼ぶ場面がある。また、命令口調「〇〇してくだい。」と伝える場面が多い。	利用者の気持ちに立って、声掛けができる。	①相手に気持ちを確認するような問いかけを実践する。例えば、「立って。」→「立てますか。」、「飲んで。」→「まだ飲めますか。」など、介護現場における様々な声掛けを収集して、スタッフ会議で話し合う。 ②「プライバシー保護の取組」の社内研修を実践して、認識を深める。	12ヶ月
3	34	服薬ミス（飲み忘れ）が特に多い。	年間服薬ゼロ。	①できる限り2人体制の時に、服薬支援する。 ②当日の服薬担当は、服薬支援が終了するまでの間、その他の介護支援を一切行わない。（途中で他の支援を行うことで忘れることが生じる。） ③別の職員が必ず薬ケースをチェックする。チェック表の活用。 ④利用者ごとの薬の情報をスタッフ会議で共有する。病気と薬の関係性から、薬の重要性を認識する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。